

2012年2月期  
第2四半期 決算説明資料

2011年10月  
株式会社ゼットン  
(コード:3057)

# 目次

## I. 決算概要

第2四半期 決算サマリ ....	4
損益計算書概要 .....	5
四半期業績の推移 .....	6
売上高の変動要因 .....	7
店舗数 / 売上高構成比 .....	8
既存店売上高前年同期比 .....	9
事業別業績：	
ハイライト .....	10
公共施設開発事業 .....	11
商業店舗開発事業 .....	12
本社経費の概要 .....	13
貸借対照表概要 .....	14
キャッシュ・フロー計算書概要 .....	15
2012年2月期 連結業績計画 .....	16

## II. トピックス

上場来最高の収益水準に .....	18
速やかな震災対応と売上高の早期回復 .....	19
投資基準の厳格化 .....	20
シーズナルプロモーションによる売上拡大 ....	21
コストコントロールの徹底 .....	22
第三者割当増資の実施について .....	23
第2四半期の新規出店 .....	24
新業態開発 .....	26
東京都美術館への新規出店 .....	27

## APPENDIX

エリア別：売上高構成比 / 店舗数の推移 .....	29
売上高 / 経常利益の推移 .....	30



# 1. 第2四半期決算概要

(2011年3月～2011年8月)

Photo: Aloha Table Waikiki

当資料は株式会社ゼットンが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

# 第2四半期 決算サマリー

業績の状況・・・第2四半期における過去最高の売上・利益を達成  
売上高は前年同期比0.4%増の3,407百万円、営業利益は前年同期の159百万円に比べ98百万円増の258百万円となりました。

1

## 震災後に売上高は大幅回復

売上高は東日本大震災の影響で一時的に大幅に落ち込んだ後、ハワイアンブランド、夏季限定店舗を中心に大幅に回復しました。

## 利益率の大幅向上

店舗運営コスト、本社経費の低減に全社的に取り組んだ結果、収益性が大きく改善し、経常利益率は過去最高の7.1%となりました。

2

## 新規出店の状況・・・4店舗を新規出店

商業店舗開発事業においては4店舗(カジュアル店1店舗、ハワイアンブランド直営店2店舗、ハワイアンブランドF C店1店舗)を新規出店しました。これにより、当期末の店舗数は52店舗(直営店49店舗、F C店3店舗)となりました。

3

## 海外店舗の状況・・・米国ハワイが順調

アロハテーブルの本店である米国ハワイの「Aloha Table Waikiki」が順調に推移しています。売上高は前年同期比で106.6%となりました。

# 損益計算書概要

(単位：百万円/%)

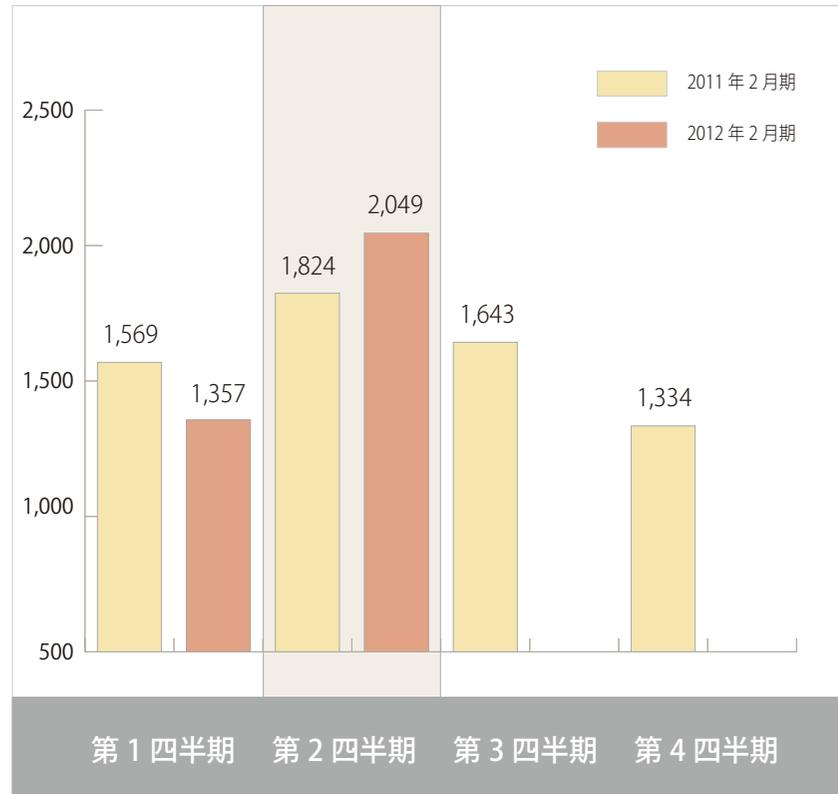
	2011年2月期 第2四半期		2012年2月期 第2四半期		増減		ポイント
	(金額)	(百分比)	(金額)	(百分比)	(金額)	(百分比)	
売上高	3,393	100.0	3,407	100.0	14	-	前年同期比 0.4%増。東日本大震災時に大幅に落ち込んだ後、売上は大幅に回復。既存店の伸長と夏季限定店舗の売上増が寄与。
売上原価	1,012	29.8	999	29.3	△13	△0.5	売上原価率は 0.5 ポイント低下。
売上総利益	2,380	70.2	2,408	70.7	27	0.5	
販売費及び一般管理費	2,221	65.5	2,150	63.1	△71	△2.4	徹底したコストコントロールにより、販管費比率は 2.4%減となる。
(内訳) 人件費	1,078	31.8	1,036	30.4	△41	△1.3	店舗運営の効率化により、人件費は前年同期比で 1.3%減となる。
地代家賃	341	10.1	352	10.3	10	0.3	
その他販管費	801	23.6	761	22.3	△40	△1.3	
営業利益	159	4.7	258	7.6	98	2.9	販管費の低下により、営業利益は大幅に増加、前年同期より 98 百万円増加し、258 百万円となる。
営業外損益	△23	△0.7	△14	△0.4	8	0.2	
経常利益	136	4.0	243	7.1	107	3.1	
特別損益	15	0.5	△9	△0.3	△24	△0.7	
税引前当期純利益	152	4.5	234	6.9	82	2.4	
当期純利益	80	2.4	112	3.3	32	0.9	

※既存店の定義：開店から 24 ヶ月以上経過した店舗

# 四半期業績の推移

売上高

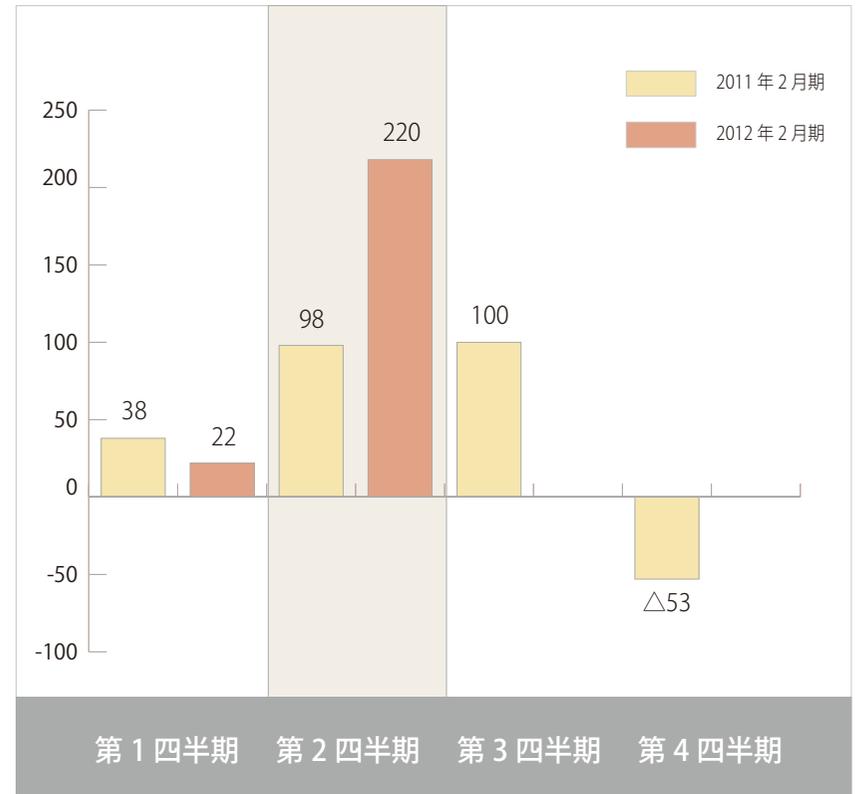
(百万円)



第1四半期の売上減少は主に東日本大震災の影響によるもので、商業店舗の一時的な売上減少と、ブライダル売上の減少がみられた。5月の復調により第2四半期は前年同期を大幅に上回る売上高を達成。

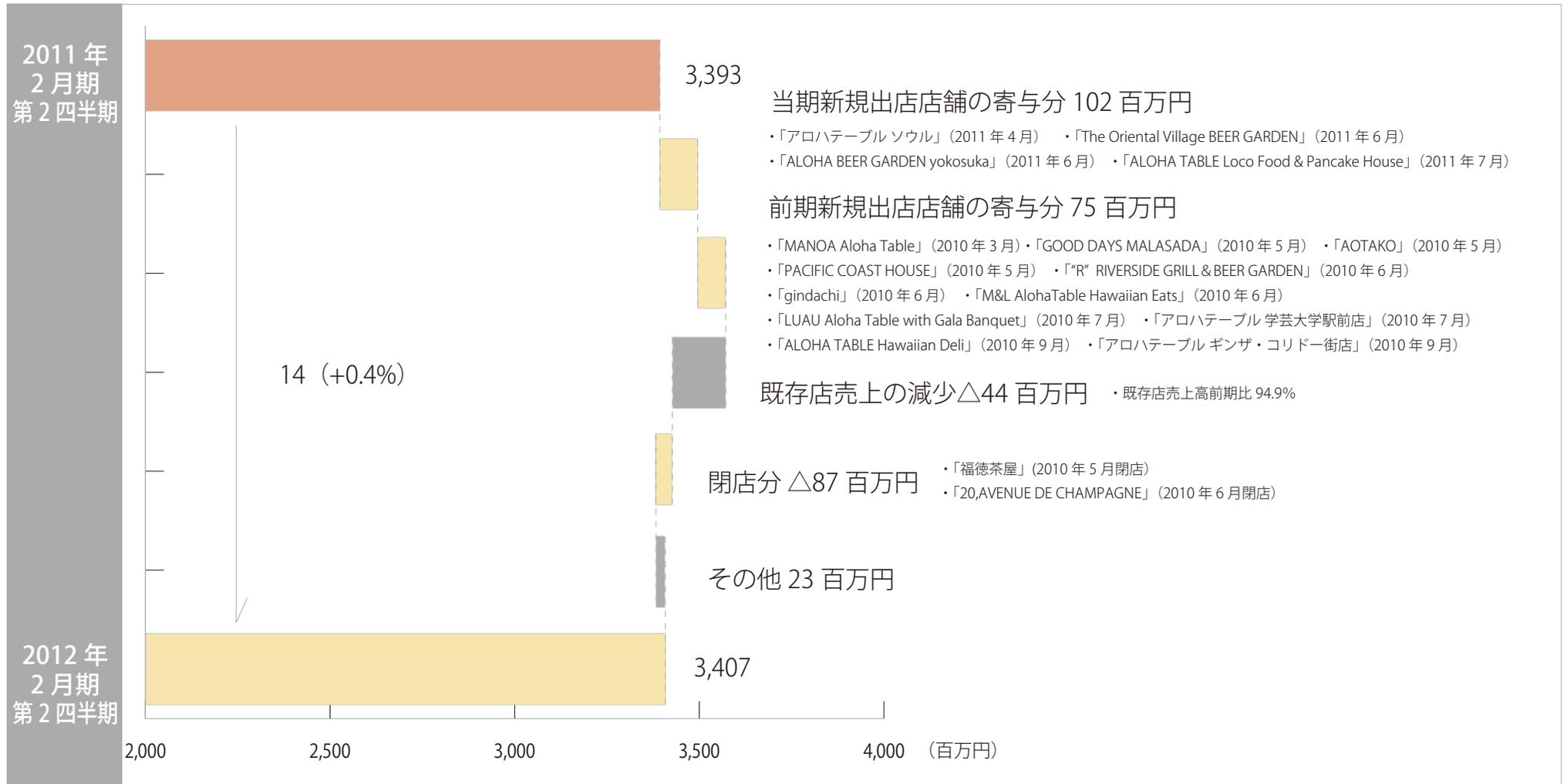
経常利益

(百万円)



第1四半期においては、大幅な売上減少にもかかわらず経常損益は黒字を維持。第2四半期においては、徹底したコストコントロールの継続と夏季限定店舗の収益が寄与し、前年同期を大幅に上回る経常利益を達成。

# 売上高の変動要因



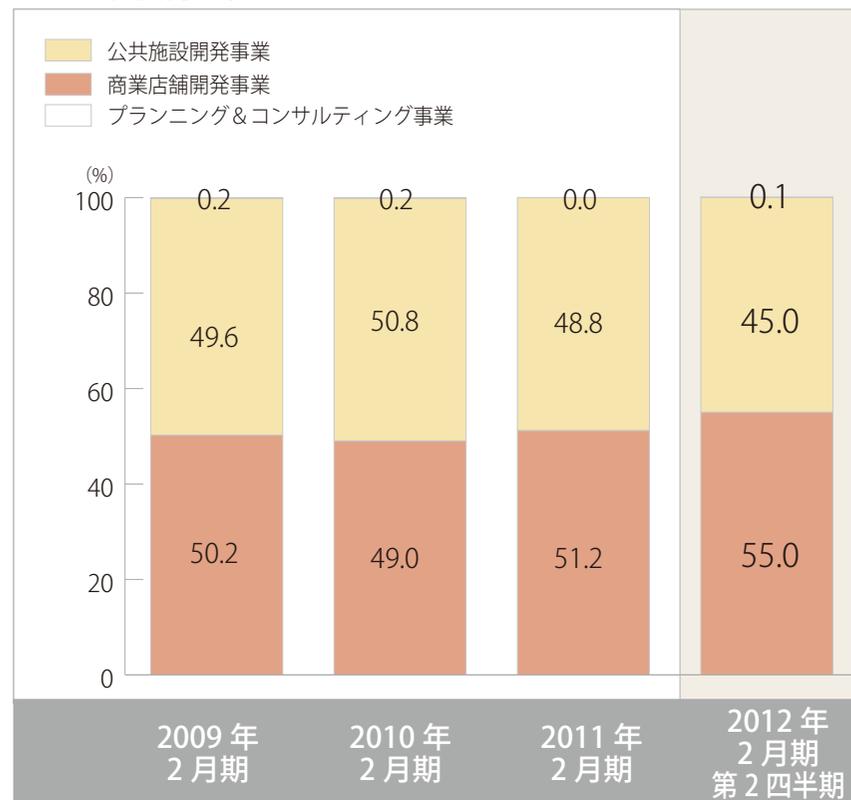
※既存店：開店から24ヶ月以上経過した店舗

# 店舗数 / 売上高構成比

店舗数

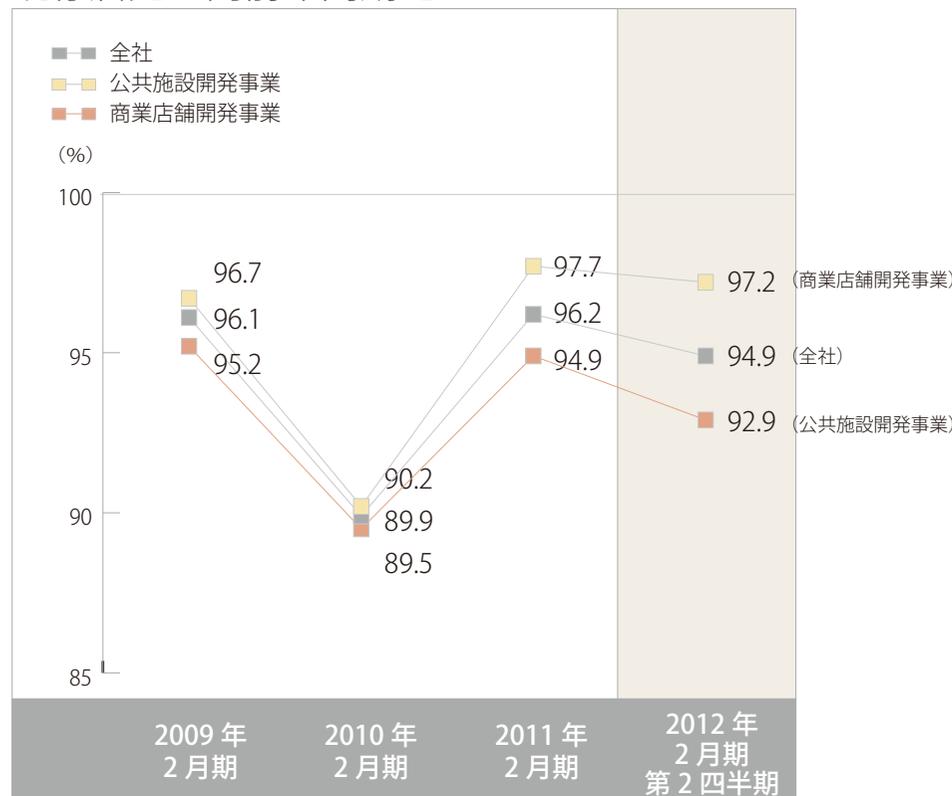


売上高構成比



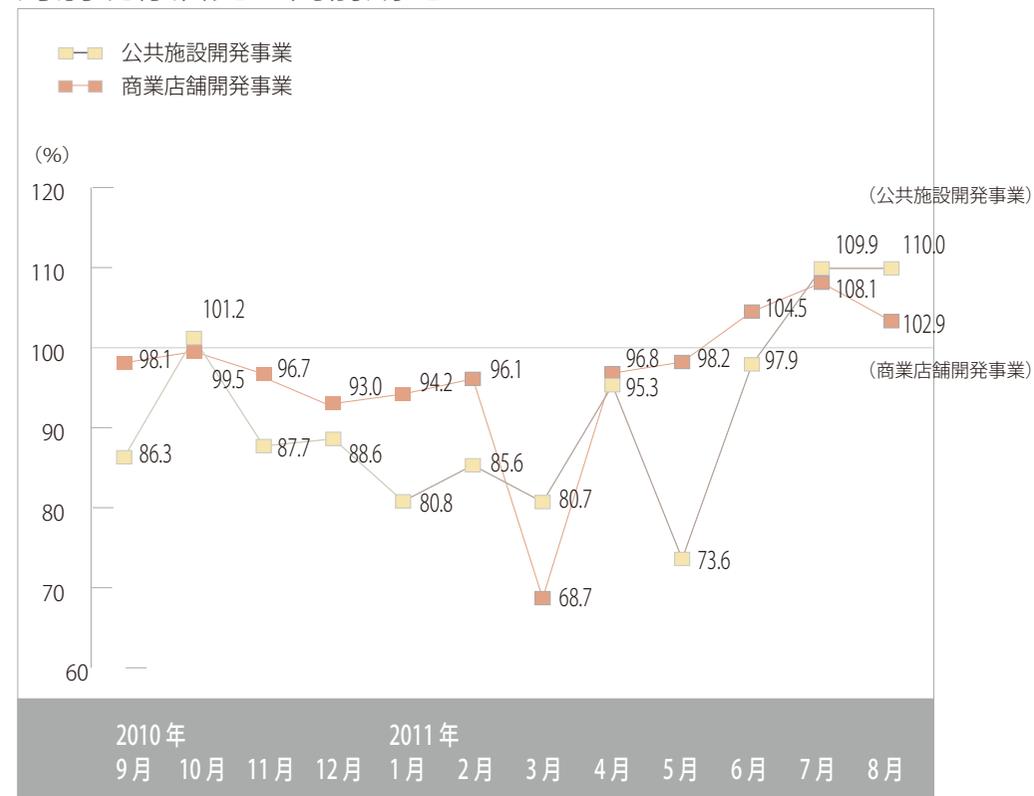
# 既存店売上高前年同期比

既存店売上高前年同期比



※既存店：開店から24ヶ月以上経過した店舗。

月別既存店売上高前期比



# 事業別業績：ハイライト

(単位：百万円 / %)

	全社		公共施設開発事業		商業店舗開発事業		プランニング& コンサルティング事業		本社経費
	(金額)	(百分比)	(金額)	(百分比)	(金額)	(百分比)	(金額)	(百分比)	(金額)
売上高	3,407	100.0	1,532	100.0	1,873	100.0	2	100.0	—
売上原価	999	29.3	476	31.1	522	27.9	0	13.1	—
売上総利益	2,408	70.7	1,055	68.9	1,350	72.1	1	86.9	—
販売費及び一般管理費	2,150	63.1	838	54.8	1,069	57.1	40	—	201
営業利益	258	7.6	216	14.2	281	15.0	△38	—	△201

# 事業別業績：公共施設開発事業

(単位：百万円 /%)

	2011年2月期 第2四半期		2012年2月期 第2四半期		増減		ポイント
	(金額)	(百分比)	(金額)	(百分比)	(金額)	(百分比)	
売上高	1,617	100.0	1,532	100.0	△85	-	前年同期比 5.3%減。東日本大震災の影響によりブライダル売上の減少がひびく。
(内訳) フードサービス	941	58.2	1,027	67.1	85	△8.8	
ブライダル	676	41.8	504	32.9	△171	△8.8	
売上原価	514	31.8	476	31.1	△38	△0.7	
(内訳) フードサービス	222	13.7	262	17.1	40	3.4	
ブライダル	292	18.1	213	14.0	△78	△4.1	
売上総利益	1,103	68.2	1,055	68.9	△47	0.7	
販売費及び一般管理費	853	52.7	838	54.8	△14	2.0	
(内訳) 人件費	398	24.6	366	23.9	△31	△0.7	
地代家賃	80	5.0	88	5.8	8	0.8	
その他販管費	374	23.1	383	25.0	9	1.9	
営業利益	250	15.5	216	14.2	△33	△1.3	
店舗数	14 店		14 店		0		
既存店売上高前期比 <sup>※</sup>	100.7%		92.9%		-		ブライダルの既存店売上は前年同期比 74.7%、レストランの既存店売上は前年同期比 109.0%。

※既存店：開店から 24 ヶ月以上経過した店舗。

# 事業別業績：商業店舗開発事業

(単位：百万円/%)

	2011年2月期 第2四半期		2012年2月期 第2四半期		増減		ポイント
	(金額)	(百分比)	(金額)	(百分比)	(金額)	(百分比)	
売上高	1,773	100.0	1,873	100.0	100	—	前年同期比 5.6%増。夏季限定店舗の売上拡大。既存店も堅調に推移。
売上原価	498	28.1	522	27.9	24	△0.2	
売上総利益	1,275	71.9	1,350	72.1	75	0.2	
販売費及び一般管理費	1,059	59.7	1,069	57.1	9	△2.7	販売費及び一般管理費率が 2.7%低下。
(内訳) 人件費	486	27.5	475	25.4	△11	△2.1	店舗運営効率の向上により、人件費率が 2.1%低下。
地代家賃	221	12.5	228	12.2	7	△0.3	
その他販管費	351	19.8	365	19.5	14	△0.3	
営業利益	215	12.2	281	15.0	65	2.8	
店舗数	32 店		38 店		6		当第 2 四半期中の新規出店 4
既存店売上高前期比 <sup>※</sup>	99.9%		97.2%		—		

※既存店：開店から 24 ヶ月以上経過した店舗。

# 本社経費の概要

(単位：百万円)

	2011年2月期 第2四半期	2012年2月期 第2四半期	増減	ポイント
販売費及び一般管理費	265	201	△64	
(内訳) 人件費	103	94	△9	
その他販管費	161	107	△54	
地代家賃	17	10	△7	
減価償却費	3	1	△1	
旅費交通費	22	15	△6	
その他	117	79	△38	震災時に業務委託費等の大幅見直しを実施。

(単位：%)

販売費及び一般管理費 対売上高比率 ※	7.8	5.9	△1.9	
------------------------	-----	-----	------	--

※販売費及び一般管理費対売上高比率 = 本社販売費及び一般管理費 / 連結売上高

# 貸借対照表概要

(単位：百万円)

	2011年 2月期末	2012年2月期 第2四半期末	増減
<b>【資産の部】</b>			
流動資産	674	1,441	766
現金及び預金	419	1,042	623
売掛金	128	235	107
その他	137	165	28
貸倒引当金	△10	△2	7
固定資産	2,102	2,135	33
有形固定資産	1,660	1,687	26
建物・建物付属設備	1,397	1,410	12
器具備品	152	157	4
建設仮勘定	3	4	4
その他	110	114	4
無形固定資産	28	25	△3
投資その他の資産	413	423	9
資産合計	2,776	3,576	800

	2011年 2月期末	2012年2月期 第2四半期末	増減
<b>【負債の部】</b>			
流動負債	1,130	1,697	567
買掛金	251	413	161
短期借入金及び 一年内返済予定長期借入金	353	609	255
その他	524	674	149
固定負債	1,123	1,130	7
長期借入金	1,031	989	△41
その他	92	141	48
負債合計	2,253	2,828	574
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本	560	767	207
資本金	330	378	47
資本剰余金	253	300	47
利益剰余金	△23	88	112
評価・換算差額等	△36	△18	18
純資産合計	523	748	225
負債及び純資産合計	2,776	3,576	800

(単位：%)

流動比率	59.7	84.9	25.2
自己資本比率	18.8	20.9	2.1
ROA	3.6	7.1	3.5
ROE	21.9	35.4	13.5

※ROA (ROE)：当期純利益／当期の平均資産 (平均純資産) ×2

# キャッシュ・フロー計算書概要

(単位：百万円)

	2011年2月期 第2四半期	2012年2月期 第2四半期	増減	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	361	449	88	主に税金等調整前四半期純利益 234 百万円、減価償却費 113 百万円、売上債権の増加額△108 百万円、仕入債務の増加額 161 百万円等によるもの。
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144	△115	28	主に有形固定資産の取得による支出△73 百万円によるもの。
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163	287	451	主に短期借入金の増加額 217 百万円、長期借入れによる収入 185 百万円、長期借入金の返済による支出△188 百万円、株式の発行による収入 91 百万円によるもの。
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	2	7	
現金及び現金同等物の増減額	44	619	575	
現金及び現金同等物の期首残高	472	410	△61	
現金及び現金同等物の四半期末残高	516	1,030	513	

# 2012年2月期 連結業績計画

(単位：百万円 /%)

	2011年2月期 通期実績	2012年2月期 第2四半期実績	進捗率 (2Q実績 / 通期計画)	2012年2月期 通期計画
売上高	6,371	3,407	53.2%	6,400
営業利益	200	258	107.6%	240
経常利益	183	243	110.6%	220
当期純利益	102	112	102.4%	110



## II. 第2四半期のトピックス

Photo: "R" RIVERSIDE GRILL & BEER GARDEN

当資料は株式会社ゼットンが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

# 上場来最高の収益水準に

## 第2四半期決算における過去最高益を達成

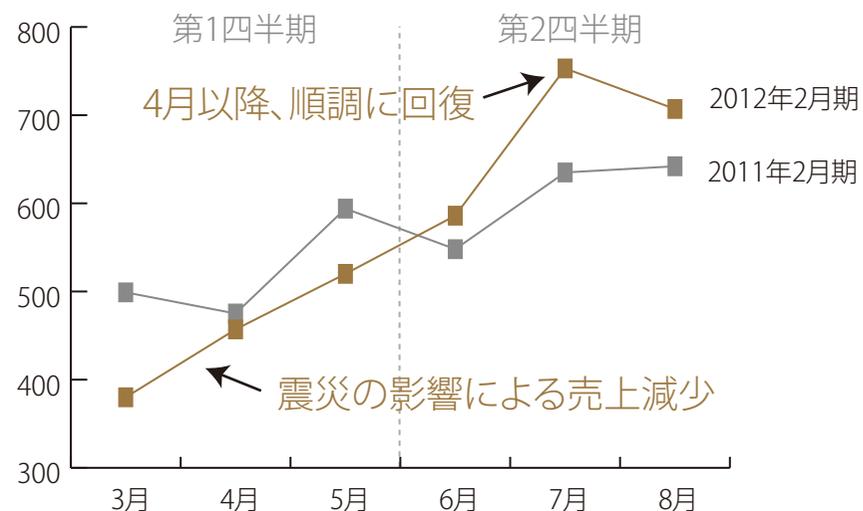
2012年2月期第2四半期におきましては、売上高3,407百万円、営業利益258百万円、経常利益243百万円と、前期に引き続きまして、過去最高益を達成しました。その要因は下記のとおりだと分析しています。

1. 速やかな震災対応と売上高の早期回復
2. 投資基準の厳格化
3. シーズナルプロモーションによる売上拡大
4. コストコントロールの徹底

# 1. 速やかな震災対応と売上高の早期回復

「東日本大震災」の発生後、即時に経費を大幅圧縮。  
 売上高が大幅に減少した第1四半期においても収益を確保。  
 その後の売上回復で、経常利益は前年同期比178.6%となる。

月次売上高の推移(百万円)



## 第1四半期

売上高は大幅減少(13.4%減)するが、  
 経常利益は黒字を確保(22百万円)

## 第2四半期(累計)

6月-8月の売上高は前期を上回り、  
 過去最高の経常黒字(243百万円)に。

## 2. 投資基準の厳格化

ROI（投下資本利益率）が高く、  
投資回収スピードの速いプロジェクトに集中投資。

### これまでの弊社の課題

1店舗当たりの出店コストが期間収益に与える影響が大きく、収益率の向上が難しかった。

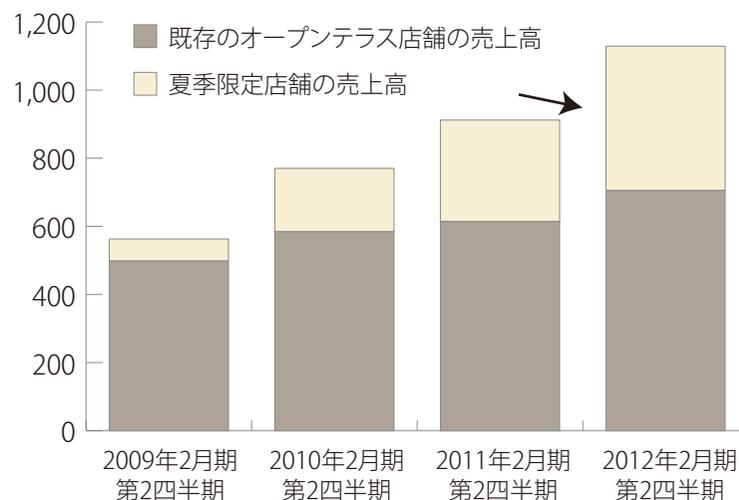
### ROI重視の投資基準

- ・高い収益率を見込めること
- ・少ない投資額でリスクを最小化できること
- ・初年度から黒字を見込めること
- ・投資回収速度を3年以内に見込めること

### 3. シーズナルプロモーションによる売上拡大

季節に応じて営業強化ポイントを変化させることで収益力を向上。  
 夏季限定店舗は6店舗、既存店のオープンテラス店舗は9店舗に。  
 今後、冬季のプロモーションも強化。

夏季プロモーション実施店舗の売上高推移(百万円)



シーズンブルプロモーションの特徴

低い投資コスト

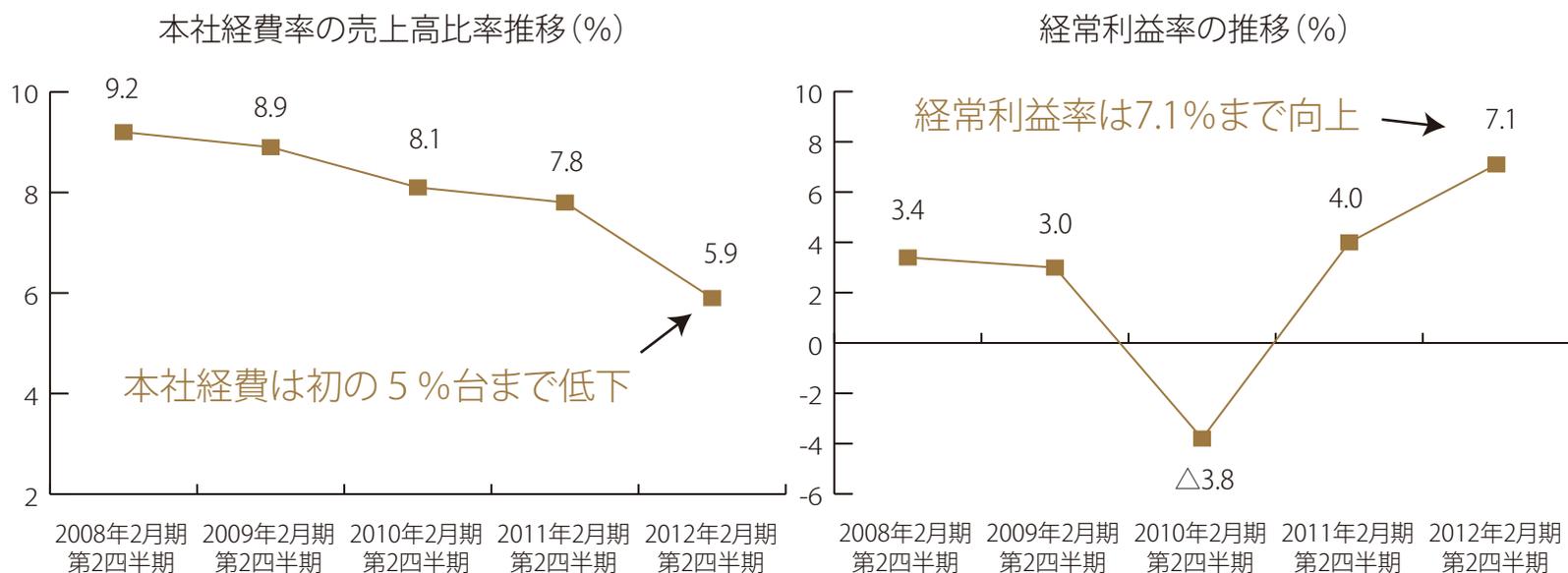
高い収益性

収益バランスの平準化に貢献

弊社の収益構造は、ブライダルサービスにより第1四半期と第3四半期の売上収益が大きくなる傾向がありますが、季節限定店舗は第2四半期と第4四半期の売上拡大につながり収益バランスの平準化に貢献しています。

## 4. コストコントロールの徹底

徹底したコスト削減により、本社経費を5%台まで低減。  
 共同購入による原価低減や運営コスト削減にも継続して取り組む。  
 その結果、収益率が大幅に向上。



# 第三者割当増資の実施について

## 第三者割当増資を実施し、払込が完了しました。

弊社は一層の財務基盤の強化を図るため、2011年8月16日を払込期日として、第三者割当を実施しましたのでお知らせいたします。新株式発行の概要は下記のとおりです。

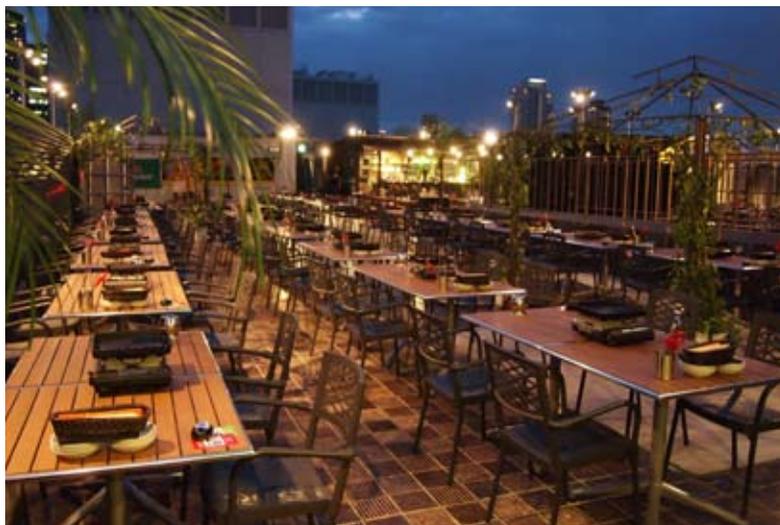
(1) 発行新株式数	普通株式3,452株
(2) 発行価額	1株につき 金27,500円
(3) 発行価額の総額	94,930,000円
(4) 資本組入額	1株につき 金13,750円
(5) 資本組入額の総額	47,465,000円
(6) 募集又は割当方法	第三者割当の方法によります。
(7) 申込期日	平成23年8月15日(月)
(8) 払込期日	平成23年8月16日(火)
(9) 割当先及び割当株式数	1. 尾家産業株式会社 1,090株      2. 株式会社N S K 1,090株 3. キーコーヒー株式会社 727株      4. 株式会社マルト水谷 545株

# 第2四半期の新規出店 1

## The Oriental Village BEER GARDEN

新規出店 商業店舗開発事業 期間限定店舗

「The Oriental Village BEER GARDEN (オリエンタルビレッジ・ビアガーデン)」: 大阪・天満橋の京阪シティモール屋上に2011年6月14日に開店した期間限定店舗です。大川と河川公園を見下ろすロケーションでBBQとビールが楽しめます。



## ALOHA BEER GARDEN yokosuka

新規出店 商業店舗開発事業 ハワイアンブランド

「ALOHA BEER GARDEN yokosuka (アロハ・ビアガーデン)」: 2011年6月8日、横須賀モアーズシティ9Fにハワイアン・ビアガーデンをオープンしました。



## 第2四半期の新規出店 2

### ALOHA TABLE Loco Food & Pancake House

新規出店 商業店舗開発事業 ハイアnbrランド

「ALOHA TABLE Loco Food & Pancake House (アロハテーブル／ロコフード&パンケーキ・ハウス)」：2011年7月6日、名古屋市千種区にあるショッピングセンター「星が丘テラス」にSC業態のハイアnbrランドを初出店しました。



### ALOHA TABLE Seoul

新規出店 商業店舗開発事業 ハイアnbrランド FC店舗

「ALOHA TABLE Seoul (ソウル|ハイアnbr・カフェ&ダイナー)」：2011年4月、「アロハテーブル」ブランドのフランチャイズ3号店を韓国ソウルに出店しました。



# 新業態開発

## 新業態 ハワイアン マクロビオティックス

2011年10月31日、東京 広尾に、ハワイアンマクロビオティックスのデリ。「アイランドベジー」をオープン致します。

### ISLAND VEGGIE

新規出店 商業店舗開発事業    ハワイアンブランド

「ISLAND VEGGIE (アイランドベジー)」: 2011年10月30日に東京都広尾にオープンする、新業態“ハワイアンマクロビオティックス”の第1号店です。「ISLAND VEGGIE (アイランドベジー)」では多彩なシーフードを取り揃え、テイクアウトとイトインに対応、日々気軽に楽しめるベジーフードを提供いたします。



# 東京都美術館への新規出店

## 公共施設開発事業の新店舗が東京都美術館にオープン

2012年春の東京都美術館（東京・上野）のリニューアルに伴い、すべての飲食施設運営を当社が受注しました。

“トラディショナル ジャパニーズ スタイル” をグランドコンセプトとして、レストラン 2 店舗、カフェ 1 店舗をオープン致します。

公共施設開発事業の特徴である、“低い家賃比率” を活かした大型店舗となります。

### Brick TOKYO（仮称） 席数：74 席 335.87 m<sup>2</sup>

日本で育まれてきた伝統的な“洋食の味覚”を気軽に楽しめるトラディショナル・ジャパニーズ・レストラン。

### MUSEUM TERRACE（仮称） 席数：164 席 665.15 m<sup>2</sup>

日本各地の旬の味覚を厳選し、素材を活かしたオーガニック・カジュアル・イタリアン。

### M cafe（仮称） 席数：81 席 164.81 m<sup>2</sup>

こだわりのオリジナルワッフルやヘルシーなフレッシュジュース、ライトミールが楽しめるライブラリー・カフェ



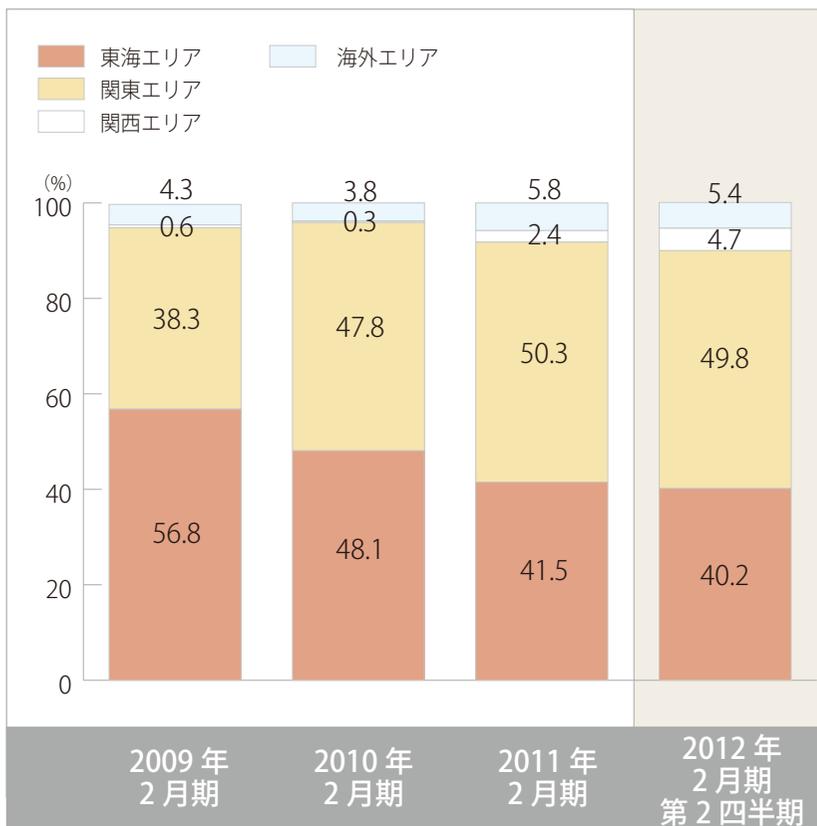
# APPENDIX

Photo: A&P with terrace

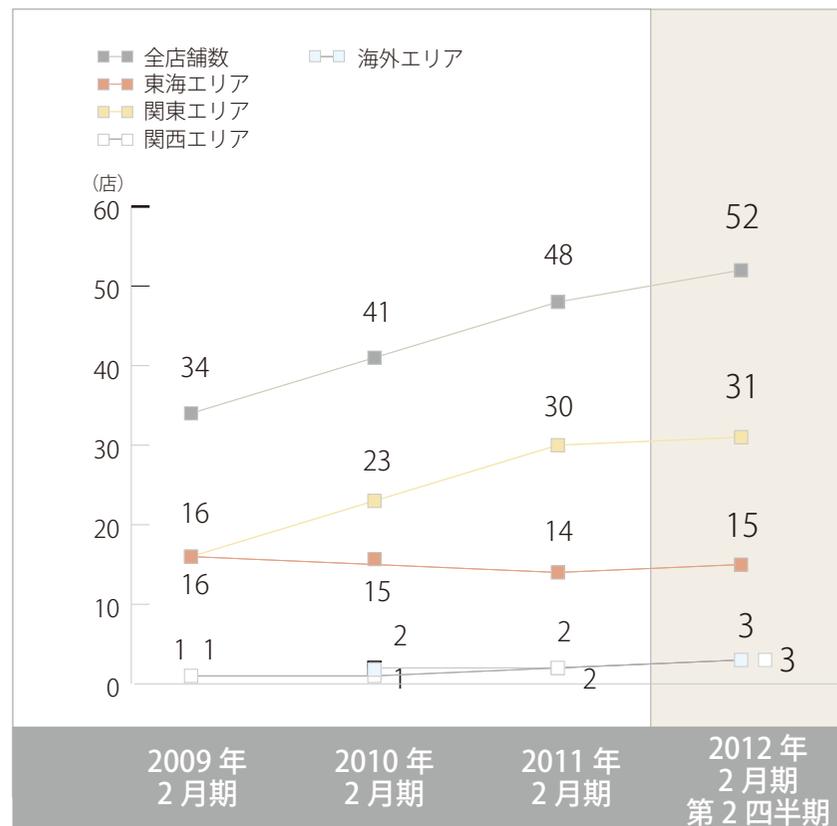
当資料は株式会社ゼットンが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

# エリア別：売上高構成比 / 店舗数の推移

売上高構成比



店舗数



# 売上高 / 経常利益の推移

